

熱処理



●金属熱処理、表面改質加工および技術的支援

國友熱工株式会社

▶TEL: 06-6788-1217 FAX: 06-6788-0948

▶URL: <http://www.kunitomo-nekkou.co.jp/>

他社に先駆け、真空浸炭炉を導入し技術開発と事業化に取り組む

ここが
スゴイ!

チタン合金などの難浸炭材の浸炭を可能にした真空浸炭の設備を業界で先駆けて導入。独自開発した高濃度浸炭処理であるFCD浸炭技術は、安価で市場性の高いクロムモリブデン鋼の表面に微細な炭化物と結晶粒を深く浸透させるもの。耐摩耗性、耐チッピング性、耐熱性に優れ、金型や工業用刃物などの耐久性を飛躍的に向上させた。



巨大なギアもFCD浸炭処理される。FCD浸炭処理により耐摩耗性、耐熱性能が飛躍的に向上。

事業概要と躍進の契機

マシニングツールから歯車・工具、大型部品まで多くの分野で活躍

表面熱処理、素材熱処理において小型部品から大型部品まで様々なサイズと多品種小ロットに対応できる設備を備え、工作機械用マシニングツール、産業機械向け歯車、掘削機械用先端工具から建設機械まで多くの分野で製品が採用されている。

会社の強み・主力商品など

熱処理・表面改質技術のスペシャリスト

調質、焼ならしなどの素材熱処理から真空浸炭、ガス浸炭、光輝焼入れ、真空焼入れなどの表面熱処理まで幅広い技術を有し、部品の用途や材料の特性を熟知した最適な処理を施すことにより、部品の機械的性能を最大限に引き出す。また、長年にわたり蓄積した材料学的、熱処理技術的なデータを基に、金属材料や熱処理・表面改質に関する企業の技術コンサルタントも務める。

今後の事業展開

プラズマ処理装置をはじめ複合的な表面改質技術を探る

浸炭技術と他の表面改質法との複合技術を活かして、「環境」をテーマに大学とも連携しながら新しい表面改質技術や複合処理技術の開発を進めている。また、独自のプラズマ処理装置により、オーステナイト系ステンレス鋼の小物部品の大量処理を実現し、その実用化を目指している。

●企業プロフィール

〒578-0948 東大阪市菱屋東3丁目8番20号

代表取締役社長 坪田輝一

設立:1966年(昭和41年)

従業員:22名

資本金:2,500万円

企業メッセージ

創業以来培った熱処理加工のあらゆるノウハウを駆使し、多くのお客様の信頼に応えながら、これからも技術の向上、更なる分野の表面改質・熱処理に努めます。

代表取締役社長 坪田輝一

■用語解説

真空浸炭:肌焼鋼(0.1mm程度の浅浸炭から4.0mmの深浸炭まで)、CD浸炭(高濃度浸炭)処理、ダイス鋼、チタン合金やステンレス鋼など難浸炭材への浸炭による表面改質が可能。